

部局名	教育委員会	所属名	指導課	所属長名	浅見 幸彦	電 話	481-0301
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3387		事務事業名称	教育振興事業					短縮コード	経常	3387	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	01	教育総務費	目	03	教育振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第45条、教育公務員特例法第21条						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
学校教育の振興を図るために、各事業等を行っている。 ①子どもサミットは、小・中学校が連携し、地域社会に主体的に参画する活動として平成21年から実施 ②郷土読本は、小学校3、4年社会科で学習する郷土の指導のため昭和43年に初版発行 ③生徒指導主任会議は、生徒指導担当者の指導力と資質の向上を図るため昭和50年より実施 ④各種会議は、教職員の職能と識見の向上のために昭和53年度から開催 ⑤学校要請訪問は、各学校における教科・領域の研究実践を充実させることにより、教師の指導力を高めるために実施。⑥教育研究会補助金については、教職員の自主的な研修団体である教育研究会を補助し、研修機会を充実させるため実施。 ⑦理科センターを市内の学校に指定し、教職員の研修の機会を確保している。 ⑧外国人児童生徒教育相談員については、市内在住の外国人児童生徒を学校に受け入れるため開始した。 ⑨指導課での教育相談は、教育関係の相談機会を増やすため開始した。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
①児童生徒の主体的な地域社会への働きかけを重視するため平成21年度から子どもサミットを開催。 ②学習指導要領の改訂に伴い、内容の大幅な改定を予定している。 ③生徒指導の重要性が高まってきている。 ④学校教育への課題が多様化している。 ⑤初若年教員の増加に伴い、要請訪問のニーズが年々高まっている。 ⑥⑦新しい教育課題に対応できるよう教職員の資質の向上が必要である。 ⑧外国人児童生徒は増加傾向にある。 ⑨相談内容が複雑化・多様化している。					大項目（節）	01	第1節教育						
					中 項 目	02	2. 義務教育						
					小 項 目	02	(2)教育内容の充実						
					細 項 目	01	①学習指導・生徒指導の充実						
02	②新しい教育環境への対応												
				実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市内児童生徒及び保護者、教職員							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ①子どもサミット開催 ②「わたしたちの八千代市」の作成 ③生徒指導主任会開催 ④主催事業開催（15事業） ⑤学校要請訪問の実施 ⑥教育研究会運営委員会参加・教育研究会への補助金交付 ⑦理科事故防止研修会の実施 ⑧外国人児童生徒教育相談員の派遣 ⑨来庁者との面談及び電話相談							
	※平成24年度に計画していること： 23年と同様。							
意図 （何を狙っているのか）	①子どもサミット→地域の一員として、地域社会に主体的に参画する態度の育成。 ②小学校3・4年生の副読本としての活用。 ③指導力及び資質の向上。 ④教職員の資質の向上。 ⑤教職員の教科・領域指導の指導力向上。 ⑥⑦教職員の研修の充実。 ⑧日本での生活への不安の軽減。 ⑨相談者の悩みやストレスの解消や緩和。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市内小学校3年生	人	2,058	2,029	2,019	1,906	
	指標2	市内公立中学校3年生	人	1,586	1,592	1,628	1,639	
	指標3	市内小学校6年生	人	2,046	1,926	1,859	1,868	
活動指標	指標1	子どもサミット参加児童生徒	人	136	136	136	90	
	指標2	郷土読本の配布冊数	冊	4,500	2,500	2,400	2,400	
	指標3	生徒指導主任・生徒指導担当職員数	人	34	34	34	34	
成果指標	指標1	子どもサミット参加児童生徒数/小学校6年生中学校3年生	人	3.7	3.9	3.9	2.6	
	指標2	郷土読本の配布冊数/小学校3年	%	100	100	100	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3387	事務事業名称	教育振興事業				所属名	指導課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			次代を担う子どもたちには、これからの社会において必要となる「生きる力」が求められている。そのためには幅広い知識と柔軟な思考力に基づく新しい知識や価値を創造する能力が必要である。そこで地域社会に主体的に参画する態度の育成を担う子どもサミットの参画人数、活動の拡大を図り、また児童生徒及び家庭・地域からの教育的ニーズに対応した環境整備を進めていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			学校教育の充実に対する市民のニーズは広く、多い。人的配置等経費が増加するが、それに伴い成果の向上が図られる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
①参加児童生徒を中心とした地域への自主的、積極的な活動が行われている。 ②郷土読本は社会科授業における中心教材である。③生徒指導の重要性が認識されてきている。 ④⑤「確かな学力」の定着、「豊かな心」の育成について多くの保護者や市民より要望が出ている。 ⑥教職員の資質の向上は市民の願いであり、教職員が専門的な研修を受けることは児童生徒の健全育成につながる。 ⑦理数教育の充実が求められており、教職員の研修が必要である。 ⑧外国人児童生徒及び保護者だけでなく学校現場からもニーズが高まってきている。⑨市民のニーズが複雑化・多様化し、教育相談の充実が一層求められている。									

所属長コメント	子どもサミットは、市内全3 4校から2名ずつの代表を選出し計6 8名を中心に活動している。年に2度実施してきた学校代表委員による特別な集まりだけでなく、それぞれの学校区における小中学生が地域住民と手を携え、共に活動する事業へと、今後もさらに進化させていく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			現状のまま継続とするが、学習環境の向上のための人的配置等については、費用対効果を踏まえて、今後も検討を行っていくこと。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									